資 料 提 供
令和7年 8月18日
里山振興室 武内
内線 4608
外線 (076)225-1608

世界農業遺産スタディバスツアーの参加者募集について

石川県、能登4市5町、関係団体で構成する世界農業遺産活用実行委員会では、平成23年度から、世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力を体験し、学ぶためのスタディツアーを企業の協力を得て実施しています。

今回は、アサヒビール株式会社の協力を得て、能登の復興を後押しすべく、下記のとおり実施することとしており、参加者を募集いたします。

記

1 スタディバスツアーの内容

- (1) 実施日 令和7年9月21日(日)
- (2) 主催 世界農業遺産活用実行委員会、アサヒビール株式会社
- (3) テーマ及び行程 ~行って、聞いて、感じる。能登の今にふれる旅~
(行程は別紙のとおり)
- (4) 募集定員 ペア15組30名(申込多数の場合は抽選)
- (5) 参加費 4,500円/名
- (6) 旅行内容に関する問合せ先

近畿日本ツーリスト株式会社 金沢支店

〔電話：076-232-0571
受付時間：10:00～17:00(土・日・祝を除く)〕

2 参加者募集について

- (1) 募集期間 令和7年8月18日(月)～令和7年8月31日(日)締切
- (2) 応募方法

必要事項を記入の上、Eメールで応募

(必要事項) 参加者名、住所、年齢、性別、電話番号、過去参加の有無、
応募動機、食物アレルギー

(Eメール宛先) kanazawa@or.knt.co.jp

(別紙)

世界農業遺産スタディバスツアー行程表（予定）

<テーマ> ～行って、聞いて、感じる。能登の今にふれる旅～

世界農業遺産「能登の里山里海」。地震で大きな被害を受けながらも、そこには変わらず人々の暮らしがあります。特別なことをしなくても、行って、話を聞いて、感じる事が誰かの力になります。この秋、能登の人たちに会いに行きませんか。

実施日：令和7年9月21日（日）

7：40	【JR金沢駅・金沢港口（西口）発】 ※受付は 7：20開始
8：50	【妙成寺】（羽咋市滝谷町ヨ1） 3つのお堂が横一線に並んだ寺院配置が見られるのは、全国でも妙成寺だけ。今回のツアーでは普段入ることのできない書院も見学します。震災を乗り越えて国宝を目指す、北陸随一の威容を誇る重要文化財に“訪れて応援”します。
10：40	【能登金剛遊覧船】（羽咋郡志賀町富来牛下巖門） 日本海の荒波が生んだ、自然の芸術「巖門」。断崖や奇岩をめぐる遊覧船からは、能登の里海らしい穏やかな風景と、力強い海の表情が感じられます。短時間で楽しめる、見応えある海の絶景。海に寄り添う能登の暮らしを感じる、“乗って応援”の船旅へ。
12：10	【いこいの村能登半島】（羽咋郡志賀町 上野 18-1） 復旧復興関係者の宿泊受入れを、能登のために尽力するリゾートホテル。能登半島地震からの復興を応援する目的で提供される「復興丼」は能登の食材をふんだんに使用した海鮮丼です。復興を願い“食べて応援”します。※食物アレルギーのある場合は申込時にメールにご記載ください。
13：30	【HappyLeaf & 古民家こずえ】（羽咋郡志賀町町居りー22） 季節のハーブや草花とともに暮らす「Happy Leaf」。能登半島地震で工房は半壊し、やむなく取り壊しに。それでも、多くの人に背中を押され、もう一度歩き出すことを決めました。能登の原風景に包まれた「古民家こずえ」で、震災の話を聞きながら、里山の草花を使ったリース作りを体験し“聞いて応援、作って応援”します。
15：30	【道の駅とぎ海街道】（羽咋郡志賀町富来領家町甲 3-5） たくさんの貝が採れることで知られる、増穂浦海岸。その海岸を望む道の駅「とぎ海街道」では、貝細工の職人さんのお話を聞きながら、お土産を購入します。あたたかな人のぬくもりにふれながら、地元で獲れた海産物や、能登の特産品を“買って応援”します。
17：55	【JR金沢駅・金沢港口（西口）到着・解散】